

●札幌市の省エネ・節電の取り組みについて

札幌市では、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」において、今後 10 年間で持続可能なまちをつくっていくため、「低炭素社会」と「脱原発依存社会」の実現を目指すこととしています。

こうした中、電力需給が安定している今夏も、省エネ・節電に継続的かつ発展的に取り組んでいくため、本日、今年度第 1 回の「札幌市省エネ・節電推進会議」を開催しました。

会議では、今夏も市有施設の率先節電に取り組むことを確認したほか、節電を特別なことではなく、当たり前のこととして市民に定着させていくことで、市全体の消費電力量の削減につなげていくため、市民向けの省エネ・節電推進事業を展開していくことを決めたところです。

札幌の未来をつなぐ子どもたちのため、市民と行政が一体となって、省エネ・節電の推進による創エネに取り組む、札幌の新たなライフスタイルを創り出していきたいと考えています。

1 市民向けの主な省エネ・節電推進事業

(1) 家庭の消費電力量見える化推進事業

今年度からの取り組みとして、家庭内の消費電力量を画面に表示できる「見える化機器」をモニター世帯に無料で貸し出し、リアルタイムで確認しながら、効果的に節電に取り組んでもらう。

① 募集モニター世帯数

夏冬合計で 1,000 世帯（先着）

② 募集期間

【夏季】平成 25 年 7 月 1 日～9 月 30 日

【冬季】平成 25 年 11 月 1 日～12 月下旬

③ 申し込み方法

コールセンター（222-4894）またはホームページ*から申し込み。

(2) さっぽろ節電大キャンペーン

家庭内での節電の取り組みをより一層推進するため、夏と冬の累計で 5 万人以上を目標に市民に節電宣言してもらおう。期間中、連続する 2 カ月間で節電を達成した市民に、抽選で記念品を贈呈。

① 募集期間

【夏の節電宣言】平成 25 年 7 月 1 日～9 月 30 日

【冬の節電宣言】平成 25 年 11 月下旬～平成 26 年 2 月 28 日

② 宣言方法

コールセンターまたはホームページ*から宣言。

③ 記念品応募方法

北海道電力株式会社が発行する「電気ご使用量のお知らせ」（写し可）を応募用紙に貼り付けて郵送。

<平成 24 年度実績>

節電宣言数：52,821 人（夏：30,129 人、冬：22,692 人）

節電達成世帯の平均電力量削減率（前年比）：夏 16.4%（2,139 世帯）

冬 20.1%（2,393 世帯）

(3) 家庭の省エネ診断

省エネ診断員が、家庭のエネルギー使用状況を「見える化」しながら診断し、各家庭のライフスタイルや機器・設備に合わせて、省エネに関するアドバイスや提案を行う。

① 目標診断世帯数

200 世帯

② 募集期間

平成 25 年 6 月 11 日～11 月 29 日

③ 申し込み方法

家庭の省エネ診断受付係（〒060-0808 北区北 8 条西 6 丁目岩泉ビル、電話：721-3660、ファクス：721-3661）に電話、ファクス、郵送。ホームページ*からの申し込みも可。

<平成 24 年度実績>

診断世帯数：130 世帯

(4) 札幌 LED 推進キャンペーン

札幌市内の店舗で対象となる LED 照明を 6 千円以上購入し、札幌市内の自宅に設置する市民に対して、2 千円分の SAPICA を交付する。

① 予算額

40,000 千円（20,000 世帯分）

② 募集期間

平成 25 年 4 月 15 日～11 月 30 日（予算がなくなり次第終了。6 月 19 日現在の申し込み受け付け状況：13.09%）

③ 申し込み方法

申請書と領収書（またはレシート）を郵送（〒060-0003 札幌北三条郵便局留め「LED 推進キャンペーン受付係」宛て）

<平成 24 年度実績>

申し込み受付世帯数：13,511 世帯

予想電力削減量：約 1,800MWh/年（1 世帯当たり約 133kWh/年）

(5) 小中学生向け節電レポート（エコライフレポート）

子ども達が声掛け役となり、エコライフレポートで身近な節電のチェックをしながら、家庭における節電の取り組みを推進する。

① 対象

市立全小中学校の児童・生徒

② 期間

夏休み期間中および冬休み期間中

<平成 24 年度実績>

【夏休み】取り組み人数：122,683 人、提出率：90.5%

【冬休み】取り組み人数：124,391 人、提出率：91.8%

(6) さっぽろの未来を“明るく”するためにプロジェクト 2013

節電を宣言した 1 年目から、節電を定着させる 2 年目とするために、昨年に引き続き、市民に省エネや節電の必要性を分かりやすく効果的に呼び掛ける。

① 実施期間

平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

② 実施内容

- ・ 節電啓発用ポスターの掲出
- ・ 街頭啓発や節電相談会の実施
- ・ 広報紙や広報番組での呼び掛け など

2 今夏の市有施設における率先節電目標

(1) ピーク時の需要電力の削減（ピークカット）

- ① 節電目標値：2010年度比で10.4%減

施設別の節電対策取り組み項目等は別紙参照

- ② 数値目標の設定期間：平成25年7月1日～9月30日

（政府による数値目標なしの節電要請期間中）

(2) 消費電力量の削減

ピークカットによる節電目標の達成を目指す中、消費電力量の削減も意識して節電に取り組んでいく。

昨夏の市有施設における節電の取り組みでは、7～9月の平均で2010年度比10.7%の消費電力量（電気料金換算で合計約1億5千万円分）を削減した。

※ 政府からの節電要請はピーク時の需要電力の削減を求めるものであることから、札幌市では、市有施設における節電目標値を定め、ピーク時の需要電力の削減に取り組んでいくこととしたが、一方で、札幌市が目指す「持続可能なまち」の実現のためには、消費電力量の削減も進めていく必要がある。そのため、消費電力量そのものの削減にも積極的に取り組んでいくこととした。

<参考：平成24年度7～9月における市有施設の消費電力量>

	① 2010年	② 2012年	③ 削減量 (①－②)	削減率 (③/①)
7月	4520万 kWh	4032万 kWh	488万 kWh	10.8%
8月	4584万 kWh	4028万 kWh	556万 kWh	12.1%
9月	4330万 kWh	3937万 kWh	393万 kWh	9.1%
累計	1億3434万 kWh	1億1997万 kWh	1437万 kWh	10.7%

問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課 大平・山本・田縁（たべり）

電話：211-2877

※ http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/index.html

札幌市市有施設率先節電対策取組項目(2013夏)

夏の率先節電対策項目

(参考)2012夏の状況

項目	削減内容	2010年 ピーク電力 (kW)	削減電力 (kW)	削減率 (%)
清掃 インフラ	工場内等の照明点灯時間短縮	5,141	81	15.1
	ごみ資源化工場の設備運転制御(一部施設稼働停止含)		694	
	白石清掃工場の灰溶融運転停止による売電		1,800	33.9
下水道 インフラ	水再生プラザの散気装置・ブロワの省エネ化	18,769	503	7.7
	ブロワ運転時間の調整		454	
	換気装置の運転時間制限など		494	
水道 インフラ	ポンプ運転の夜間シフト(一部自動化)、ポンプ運転台数の見直しなど	5,338	822	15.4
交通 インフラ	駅舎換気風量制御、照明間引き、改札機・券売機一部停止、標識灯の一部消灯、車両照明の間引きなど	24,070	1,642	6.8
庁舎 (本庁舎、区役所、 消防局、下水道庁舎、 水道局、交通局、 菊水分庁舎)	本庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理、エレベーター使用制限など	8,595	1,171	13.6
	区役所の照明の間引き・LED化、空調温度管理など			
	その他庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理など			
市民利用施設 (円山動物園、コンベンションセンター、キタラ等)	照明の間引き・LED化、空調温度管理など	27,144	2,774	10.2
病院	照明の間引き・LED化など	2,622	—	—
学校	廊下等照明の間引き、消灯の徹底など	20,811	1,311	6.3
合計		112,490	11,746	10.4

昨夏の 目標 (kW)	削減率 (%)	7月 実績 (kW)	8月 実績 (kW)	9月 実績 (kW)
1,406	27.3	2,225	2,444	2,136
1,800	35.0	1,800	1,800	1,800
1,384	7.4	1,426	1,435	1,535
687	12.9	977	971	932
2,239	9.3	3,630	2,870	2,560
943	11.0	1,156	1,102	1,065
2,554	7.2	3,554	3,687	3,597
—	—	▲ 180	▲ 312	▲ 72
490	2.4	1,147	2,278	1,455
11,503	10.2	15,735	16,275	15,008

平均 15,673kW(13.9%)

【節電要請内容】

数値目標 なし

要請期間 平成25年(2013年)7月1日(月)～9月30日(月) 平日9時～20時
※8月13日(火)から8月15日(木)までを除く。